

## 2023 年度 国際交流助成 募集要項 【後期分】

<p><b>1. 助成対象</b></p>	<p><b>2023 年 10 月 1 日～2024 年 3 月 31 日に開催される</b>、生命科学にかかる科学技術に関する研究を目的として実施される研究集会で、下記の 2 つの区分においてそれぞれの条件を満たすもの（看護学、リハビリテーション学等についての研究集会も含む）。</p> <p><b>I 集会助成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国内で開催される研究集会で、クローズドな集会でなく外部からの参加者を認めるもの、又は海外で開催される研究集会の場合は、国内の学会が共同主催するもの</li> <li>・参加者が 300 名以上で海外からの参加者が見込まれるもの</li> </ul> <p><b>II 小規模研究会助成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国内で開催される研究集会、又は研究者の国際交流を支援する集会で、クローズドな集会でなく外部からの参加者を認めるもの</li> <li>・参加者が 300 名未満のもの</li> </ul> <p>※開催方法は参集、オンライン等いずれも対象とする。 ※当財団の理事・評議員・学術委員・選考委員が開催責任者の研究集会は助成の対象外。</p>
<p><b>2. 助成件数、1 件当たりの助成金額</b></p>	<p>助成件数：20 件程度 助成金額：1 件につき 50 万円まで</p>
<p><b>3. 申請者及び申請件数</b></p>	<p>研究集会の開催責任者（事務局職員・事務委託業者による申請は不可） 1 申請者から 1 件/年、1 研究集会につき 1 件/年（集会助成と小規模研究会助成への同時申請は不可）</p>
<p><b>4. 推薦者及び推薦件数</b></p>	<p>当財団の理事・評議員・学術委員のうち、文末の【推薦者一覧】に記載する者 推薦件数は、集会助成、小規模研究会助成を合わせて 1 推薦者につき原則 3 件</p>
<p><b>5. 申請方法</b></p>	<p><b>国際交流助成 Web システム</b>より、マイページ登録後、申請書に必要事項を入力。印刷した申請書に推薦者の押印を得て、PDF でアップロード。</p> <p>&lt;添付資料（PDF でアップロード）&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①プログラム（案の段階でも構いません）</li> <li>②組織委員一覧（研究集会の役職・氏名の記載があるもの）</li> <li>③海外で開催される集会の場合は、申請者（国内の学会）が共同主催者であることを示す文書</li> </ol> <p>※添付資料は可能な限り A4 縦サイズとし、それぞれ最大 6 ページまでとする。</p>
<p><b>6. 申請期間</b></p>	<p>2023 年 7 月 1 日（土）から 8 月 7 日（月）まで</p>
<p><b>7. 選考</b></p>	<p>当財団選考委員会において助成区分ごとに下記の基準で選考を行い、理事会にて決定します。</p> <p><b>I 集会助成</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学術性の高いもの</li> <li>2) 新しい学術領域を開くもの、新規性が高いもの</li> <li>3) クローズドな集会でなく、広く参加者を募集しているもの</li> <li>4) 海外からより多くの参加者が見込まれるもの</li> </ol> <p><b>II 小規模研究会助成</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学術性の高いもの／研究者の国際交流支援集会においては国際交流への貢献度が高いもの</li> <li>2) 新しい学術領域を開くもの、新規性が高いもの</li> <li>3) クローズドな集会でなく、広く参加者を募集しているもの</li> </ol> <p>なお、評価が拮抗した場合には以下を考慮することがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当財団の助成回数が少ないもの（過去 10 年間）</li> <li>・参加者数、予算が少ないもの</li> <li>・開催実績が少ないもの</li> </ul>

## 2023 年度 国際交流助成 募集要項 【後期分】

8. 採否の通知及び助成金の贈呈	9 月下旬に申請者メールアドレスへ採否の通知をします。その後 10 月以降に当該研究集会の銀行口座宛に振り込みます。
9. 助成金の使途	研究集会の準備・運営に必要な経費（会場使用料、講演者の招聘費用、プログラム等の印刷費等、研究集会の開催に直接必要な経費とし、懇親会等の費用、主催者の人件費等は除く）
10. 成果の報告	研究集会の開催終了後、3 カ月以内に「国際交流助成 Web システム」により成果報告書および会計報告を提出してください。
11. その他	助成金の交付対象者が以下に該当した場合は、助成金交付を取消す、または返還を求めることがあります。 1) 虚偽の申し出または報告を行ったとき 2) 対象となる集会が中止になったとき 3) 「報告の義務」を行わなかったとき
連絡先	公益財団法人 テルモ生命科学振興財団 事務局 E-mail : zaidan@terumo.co.jp

## 【推薦者一覧】

理事	荒井 恒憲	慶應義塾大学 名誉教授
	梅津 光生	早稲田大学 名誉教授
	岡野 光夫	東京女子医科大学 名誉教授・特任顧問 ユタ大学 特命名誉教授 細胞シート再生医療センター センター長
	片岡 一則	公益財団法人 川崎市産業振興財団 副理事長、ナノ医療イノベーションセンター センター長
	門脇 孝	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長
	武田 俊彦	ボストンコンサルティンググループ シニア・アドバイザー 岩手医科大学 医学部 客員教授
	野村 治	公益財団法人 テルモ生命科学振興財団 常務理事
評議員	新井 一	順天堂大学 学長
	粕川 博明	テルモ株式会社 常勤理事
	俵木 登美子	一般社団法人 くすりの適正使用協議会 理事長
	花井 陳雄	(元) 協和発酵キリン 会長
学術委員	岩田 博夫	京都大学 名誉教授
	笹川 千尋	千葉大学 真菌医学研究センター センター長
	上坊 敏子	独立行政法人 地域医療機能推進機構 相模野病院 婦人科腫瘍センター 顧問
	橋本 俊一	北海道大学 名誉教授

所属役職は、2023 年 6 月現在